

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	埼玉大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サイタマダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F111110101945
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	埼玉県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	AL2(課題解決型長期インターンシップ)
	学部・研究科等名	全5学部(教養、経済、教育、理、工)
	担当教職員名・役職	石阪督規:教授
	受講者数実績年度	令和4年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	15
	受入企業等数	1
	受入企業等名	東日本旅客鉄道株式会社
	産学協議会の整理上の類型	1.令和4年度実績につき分類未適用
	キャリア形成支援活動の分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	産学連携で取り組む課題解決型インターンシップ。JR東日本と埼玉大学との連携のもと、インターンシップを通じて、仕事・業務に対する理解を深めるとともに、早期の企業体験で得たさまざまな「気づき」を以後の学修やキャリア形成に活かす。 参加学生それぞれが課題解決を目指し、就業体験に取り組む「課題解決型」のプログラムとなっている。なお、期間中は、下記の①～⑥の各セクションに若干名ずつ(計15名)を派遣した。 ①営業における宣伝または観光開発に関連する業務 ②エキナカビジネスの企画管理および不動産活用管理に関連する業務 ③列車の運行に関連する業務 ④線路・土木、列車制御システム・エネルギー・情報通信または建築に関連する業務 ⑤車両および機械設備に関連する業務 ⑥安全・サービス品質向上に関連する業務
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ派遣前に事前のガイダンスを、また事後には振り返りや報告会を実施。さらに、日誌の作成や企業から出された課題の作成・提出などを含め、1回あたりおおよそ4時間程度の事前準備・事後展開学修を必要としている。

要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップに参加するうえでのビジネスマナー、守秘義務規定、ルール等の習得。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	最終報告提出に向けた指導。 最終報告会の実施。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	日誌の作成、提出。 メンター(受入担当者)による振り返り。評価。 本学独自開発のアセスメントテスト「VSAT(長所発見テスト)」の受検。振り返り。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前1日+就業体験5日+事後1日
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	事前1日・体験5日・事後学習1日との組み合わせにより、計5日間の実施期間を確保している。	

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	受講希望者が多数となったため、受入企業とともに選考(書類・オンライン面接)を実施。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいたうえで、そのニーズにも応えられるようにするために、受入企業と協力してプログラムを設計している。なお、グループワーク、プレゼンテーションなどを取り入れたアクティブラーニングスタイルで、学生が提案した企画を最終報告する場を設定している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://risyu.saitama-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2022&amp;lct_cd=XZ605022&amp;ie_cd=1">https://risyu.saitama-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2022&amp;lct_cd=XZ605022&amp;ie_cd=1</a> <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2021-0304-1034-18.html">http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2021-0304-1034-18.html</a> <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2020-0218-1036-18.html">http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2020-0218-1036-18.html</a> <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2019-0304-0957-9.html">http://www.saitama-u.ac.jp/news_archives/2019-0304-0957-9.html</a>
問い合わせ先	大学等名	埼玉大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	学務部学生支援課キャリア支援担当
	担当者氏名	英保・宇津橋
	電話番号	048-858-3767
	メールアドレス	shusyoku@gr.saitama-u.ac.jp